



文情科集会 第3回 1・2年交流会

第2回謎解き大会

10月13日に第3回目の文情科集会を1・2年生で行いました。集会前半では、謎解きのリベンジ大会が開催されました。前回は1年1級が1位、2年1級が2位でしたが、実際には今回も前回と同様の結果に終わりました。今回はクイズ研究会のメンバーによる出題で、本格的なクイズ道具を使用しての実施で、大変盛り上がりしました。



文理選択？文情科生の勉強法？



文情科集会後半は、前半と雰囲気を変えて、1年生からの文理選択や日常の勉強法についての質問事項に、2年生が説明し答えるという時間を共有しました。さすがは文情生！前半とのけじめをしっかりとつけて、熱心に発表者の話す内容のメモを取りながら、耳を傾けていました。学年の近い先輩からのアドバイスは1年生にとっても有効だったようです。また、2年生の発表者以外の人たちからも、自分たちも色々参考になることが多かったという声が聞かれました。

貴重な話が聞けて良かった。また、生物、物理選択についても、やはり先輩方の話はとても参考になると思う。化学基礎をしっかりやった方が良く何人もの先輩がおっしゃっていたので、頑張りたい。また、数学に対する取り組みもすごいと感じた。文理選択は得意不得意で決めるのではなく、興味がある教科、将来の夢を踏まえた上で、決断したほうが良いとおっしゃっていたのが、とても印象的だった。1H 岩丸 咲穂

先輩方の聞いて、文理選択においては、得意不得意だけでなく判断するのではなく、自分の将来の夢に必要かどうか、これから約2年間学ぶことを考えて勉強していて楽しい方が良くわかりました。また、科目ごとの勉強に関しては、余裕のある今のうちに、数学と英語に時間を費やすべきだということや、2年生になったら授業がない化学基礎をしっかり定着させることが大切だということ等を学びました。1H 永野 唯

文理選択や理社の分野の選択は将来に役立つ興味を持って継続できるかで決まってくるということを身にしみて感じた。また1年生という時期には数学・英語、理系に進む身として化学基礎をどれだけ定着させられるかで決まってくるということがよく理解できた。だから2年生までに学習する習慣をつけていくことに努めていきたい。貴重な助言をいただき、ありがとうございました。1I 黒木壮人

今回は、私達のために質問の答えやアドバイスをくださり、ありがとうございました。私が特に印象に残っている先輩方のアドバイスは、「数学、英語は1年生のうちに」ということです。2年生になり、理科や社会に力を入れている先輩たちだからこそ言葉だと感じ、改めてこれからの勉強に対する決意ができました。これからは苦手なことから逃さず、今ある時間を有効活用して頑張っていきます。1I 水永彩乃

TISP2022 宮崎プログラム (8/1~8/5)



TISPとは東京イノベーションサマープログラムの略称で、2016年から本校と東京大学発のイノベーションスクールischoolとの連携で、東京の大学生と宮崎の志の高い高校生でフィールドワーク・ワークショップ・発表会を行う、短期集中型のプロジェクト創出プログラムです。本年度で7年目を迎え、本校の1年文科情報科の生徒に加え、高鍋高校探究科学科、都城泉ヶ丘高校理数科の1年生で混合チームをつくり、「地元企業の強みを生かして、未来社会のニーズをとらえたアイデアの創出」をテーマに実施されました。今年度は、本校文科情報科OGで2017年のTISPの参加者重本菜里さんが全体ファシリテーターをつとめ、大学生・高校で5日間のプログラムを実施しました。

〈フィールドワークでご協力いただいた企業の皆様〉

●井崎製作所様

●川上木材様(川上社長は本校のOBです。)

●高千穂シラス様



〈プログラムの様子〉

●大学生とはオンライン実施

●高校生は対面で実施

●各班の対話の記録は今後の探究活動の発展に



私は今回の TISP で協創が生み出す力の素晴らしさに気づくことが出来ました。私はよく自分 1 人で物事を解決しようとする癖があります。だから私は周りが思っている以上に秘密主義だと自分では思ってます。でも今回の TISP で、周りとの協力した方が 1 人の時よりも数億倍良い案が出るし、数億倍楽しいということがわかりました。他人と協力するのは意見もぶつかるし、雰囲気も悪くなるし、面倒なことも多いです。でも、大変ながらも耐えて耐えて、頑張り通すと最後、最高の発表が出来ました。きっかけとなるアイデアを出したのは 1 人でしたが、それはみんなの今までの議論が導いた結果だと思います。それぞれが課題に対して真剣だと、意見を否定されても全く悲しくもないです。それぐらいみんな打ち込んでいました。私は将来、海外に出て働いてみたいです。その時、今回の TISP で感じたことは必ず生かされると確信しています。海外の人はみんな意見をガンガン言い合っていくイメージがあるから、私もそれに物おしせず立ち向かって行けそうです。自分の選択肢がまた、増えました。勇気を出して一歩踏み出してよかったです。最高の夏休みでした。 1H 黒木 星馬